

## 日 程 表 (第1日目 11月7日 (木))

時間	会場：1F 大ホール		座長
8:55	開 会 の 辞		
9:00	A-1 初期肺腺癌の異常増殖機構の解明と新しい治療戦略の提案 柴 綾 (筑波大学医学医療系診断病理学/マサチューセッツ総合病院がんセンター)		石川 雄一 (国際医療福祉大学三田病院)
9:40	A-2 唾液腺疾患解明を目指した唾液腺オルガノイドの開発 美島 健二 (昭和大学歯学部口腔病態診断科学講座 口腔病理学部門)		長尾 俊孝 (東京医科大学)
10:20	A-3 病理形態学を基盤とした、胆道悪性腫瘍の進展に関わる分子機構の解明 尾島 英知 (慶應義塾大学医学部病理学教室)		原田 憲一 (金沢大学)
11:00	B-1 間質性膀胱炎の病理 -ハンナ型と非ハンナ型の違いに着目した検討- 前田 大地 (大阪大学大学院医学系研究科先端ゲノム医療学共同研究講座)		都築 豊徳 (愛知医科大学)
11:20	病例報告 「病理解剖時のご遺体取違え事例解析と防止対策」 遠藤 希之 (仙台厚生病院病理診断科)		田中 伸哉 (北海道大学)
12:00	ランチョンセミナー1 会場：大ホール Predictive biomarkers in lung cancer - 2019 Ignacio I. Wistuba (Department of Translational Molecular Pathology, The University of Texas MD Anderson Cancer Center, USA) 座長：野口 雅之 (筑波大学) 共催：ガーダントヘルスジャパン株式会社	ランチョンセミナー2 会場：大会議室 101 ゲノム医療時代における免疫染色検査と病理医の役割 羽場 礼次 (香川大学医学部 附属病院病理診断科・病理部) 座長：藤井 誠志 (国立がん研究センター 先端医療開発センター) 共催：MSD 株式会社/大鵬薬品工業株式会社	ランチョンセミナー3 会場：大会議室 102 膀胱がん病理学的因子に基づく治療戦略と臨床的課題の展望 進藤 哲哉 (函館五稜郭病院泌尿器科) 尿路上皮癌の新たな治療戦略に求められる病理診断 ~分子生物学的分類に基づいて~ 大江 知里 (関西医科大学臨床病理学講座) 座長：小原 航 (岩手医科大学) 共催：アストラゼネカ株式会社
13:15	総 会		
14:30 ④	特別講演 Molecular and Immunological Abnormalities Associated to the Development and Progression of Lung Adenocarcinoma Premalignancy Ignacio I. Wistuba (Department of Translational Molecular Pathology, The University of Texas MD Anderson Cancer Center, USA)		谷田部 恭 (国立がん研究センター中央病院)
15:30	シンポジウム1 「早期がん研究の現状と将来」 SY1-1 分離腺管を用いた大腸粘膜内腫瘍と大腸癌のオミックス解析 -Gland-based genetics の提唱 - 菅井 有 (岩手医科大学医学部病理診断学講座) SY1-2 ALK 良性腫瘍の多様性 竹内 賢吾 (がん研究所病理部) SY1-3 前がん状態のエピゲノム異常：発がんにおける意義と臨床応用 金井 弥栄 (慶應義塾大学医学部病理学教室) SY1-4 T細胞リンパ腫のクローン進化：起源とゲノム異常 坂田 (柳元) 麻実子 (筑波大学医学医療系血液内科) SY1-5 乳腺の「境界」病変をどう診断し、どのように取扱うか？ 山口 倫 (久留米大学医学部附属医療センター病理診断科・臨床検査室)		野口 雅之 (筑波大学)  松野 吉宏 (北海道大学病院)
17:30	招聘講演 Path Presenter: A data sharing platform for collaboration and innovation in medicine Rajendra Singh (Department of Pathology, Icahn School of Medicine at Mt. Sinai, New York, USA)		深山 正久 (総合病院国保旭中央病院 遠隔病理診断センター)
18:00	ポスターセッション 総合討論 (会場：1F 多目的ホール)		
19:00	会員懇親会 (会場：1F エントランスホール)		